

アウトリーチ型支援事業 合同研修Ⅰ開催報告

東京都ナースプラザでは、就業協力員が200床未満の病院を訪問し、看護管理者を支援しています。7月10日（木）「アウトリーチ型支援 参加病院合同研修Ⅰ」を開催しました。

15病院56名の看護管理者やコアメンバーが集い、自病院の地域での役割や課題を明らかにして、めざす姿・目標や今後の取り組みについて話し合いました。

講義 テーマ：自病院のめざす患者の姿や看護ケアを語り、未来像を共有する
講師：東京都立大学 人間健康科学研究科看護科学域
准教授 國江慶子先生

グループワーク テーマ：自病院のこれからについて看護管理者と共に語り合う



合同研修Ⅰの目標

- ・ 自病院の目標達成に向けて、取組内容を考える
- ・ 取り組みの評価指標が分る



Tokyo
Metropolitan
Nurse
Plaza

参加者の感想（アンケートより）

- ・ どんなことがやりたいのか意見を出し合い、具体的な方法を議論することで、整理することができた。
- ・ 現状からの事象についての話が多かったが、もう一度患者にどうなって欲しいのかを考え直すことができた。
- ・ 取り組みの評価指標や評価方法は、量的評価が中心になりがちだったが、講義を受けることで、質的な部分についての重要性も認識できてよかった。

今後のご案内

次回の合同研修Ⅱは、11月26日（水）に開催します。

次年度の事業説明会は、令和8年2月頃に予定しています。

※アウトリーチ型支援事業は、看護管理者の皆様を応援しています。